

ふる とりの の



町花：山百合

議会だより

12月定例会

No.170

古殿町議会

令和7年1月20日発行

議会議員や町長等の期末手当引き上げ	2
一般質問：令和7年度の事業計画など6議員が12問	7
傍聴者の方からの声	14
まちの企業紹介：株式会社高木電器	16



活躍する高校生にエール！ 日大東北高校陸上部2年生

さかい ゆうま
酒井 佑真 さん
(男子円盤投競技などで活躍)

こぼり せいさ
小針 星砂 さん
(男子100m競技などで活躍)



県に準じた給与等の改正

職員・議会議員・ 町長等の給与・ 期末手当等引き上げ

職員の給与の引き上げ、期末・勤勉手当の支給割合（0.15月分引き上げ）、宿直手当の改正。議会議員・町長等の期末手当の支給割合の改正（0.1月分引き上げ）。



Q 人件費の補正は給与等の改正によるものか。

A 議員お見込みのとおりです。職員分は総額で3400万円ほどの増額です。

Q 財源は町が負担することになるのか。

A 議員お見込みのとおりです。

議会議員の期末手当 引き上げ討論

反対
討論

町民の理解が得られない

岡部 淳一議員

引き上げは人事院勧告によるものであっても、町財政の問題点が指摘され、議員定数も減らした。

今の町民が置かれている物価高で、手当を上げる状況ではない。

賛成
討論

多様な人材参画の
ために必要

鈴木 隆議員

現状のみならず、将来も考えたときに、多様な人材の地方議会参画を促すためにも、世情を鑑みた報酬の改正は必要と考える。

可決
賛成多数

ふるさと納税増額 （一般会計第4次補正予算）

Q ふるさと納税の積立金「ふるさと応援寄付金積立金」の300万円の増額は町にとってプラスになるか。

A プラスになります。

Q 人気の返礼品は何か。

A 328件の寄付がありました。返礼件数が多いのはみそや組手仕（くでじゅう）、こんにゃくです。

返礼金額が多いのは革バッグや組手仕（くでじゅう）、みそ、日本酒などです。

町の特産品がふるさと納税でどんどん周知される
と嬉しいね。



12月定例会など

議案審議と各議員

の 賛 否

第3回臨時会(11月8日)

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	採決	根本重一	根本太郎兵衛	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案 第73号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度古殿町一般会計第3次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10月27日に執行された衆議院議員総選挙により837万8,000円を増額する											
議案 第74号	町長等の給与の特例に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険料徴収誤りを受けて町長、副町長の給料を1か月10%減額(P6に掲載)											

12月定例会

議案 第75号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	県の改正に準じて期末手当等を引き上げる(P2に掲載)											
議案 第76号	令和6年度古殿町一般会計第4次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ふるさと納税の増額などにより4,169万6,000円を増額する(P3掲載)											
議案 第77号	令和6年度古殿町国民健康保険特別会計第3次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の人件費増などにより120万5,000円を増額する											
議案 第78号	令和6年度古殿町介護保険特別会計第3次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の人件費増などにより64万4,000円を増額する											
議案 第79号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○
	県の改正に準じて期末手当を引き上げる(P2に掲載)											
議案 第80号	町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
	県の改正に準じて期末手当を引き上げる(P2に掲載)											
議案 第81号	令和6年度古殿町一般会計第5次補正予算	可決	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○
	議会議員と町長等の期末手当の引き上げにより58万4,000円を増額する(P2に掲載)											

視察研修

らんざんまち
埼玉県嵐山町

議会改革を目指して

議会運営委員会

議会運営委員会では11月20日から21日まで視察研修を行いました。嵐山町議会は議会基本条例や政治倫理条例を制定するなど議会改革に積極的で、全国表彰も受賞しており、その議会運営方法を学びました。

嵐山町議会の取り組み

- ・本会議のYouTube配信
- ・議会報告会で町民との意見交換会
- ・議場の開放(コンサートの開催等)
- ・私立高校生のハイスクール議会の開催



嵐山町議会議場での視察

総務常任委員会の活動

古殿中学校校舎トイレ等を視察

総務常任委員会は古殿中学校の校舎トイレと校舎周辺のイノシシ被害状況などを視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。



イノシシによる被害を確認する議員



総務常任委員会
副委員長 根本太郎兵衛議員

意見

(校舎トイレ)

- 可能な範囲での対応(臭気対策、温水洗浄便座)をお願いしたい。
- 臭気はそれほどでもなかった。

(イノシシ被害)

- 猟友会に助言をいただき、ワイヤーメッシュなどの対応・方策を考えてはどうか。

道の駅ふるどの基本構想・基本計画 道の駅の構想を協議

12月13日に開催された全員協議会では道の駅の素案が示され、それらを基に協議を行いました。

主な内容

- ・令和6年度に都市計画法に基づく開発許可申請を行う
- ・駐車場の拡張(普通車のスペースを現在の43台から約80台に増やす)
- ・屋内イベントスペースやキッズスペースの設置
- ・既存の直売所を多目的施設としてチェーンソーアート作品を展示
- ・トイレの器数を増やす

質疑

Q 現在の進入路は危険ではないか。

A 総合的な影響を含めて比較すると、既存の進入路案がいいのではないかと考えます。

Q 国土交通省が選定する防災道の駅にする予定は。

A 避難場所という位置づけをして、補助等々も受けられるような形でやっていきたいと考えます。

Q 既存の道の駅の建物は活用できる状況なのか。

A 改修等は必要になりますが、建物自体は利用したいと考えます。



介護保険料徴収誤りによる給与減額

10月16日に開催された全員協議会で、介護保険料の徴収誤りについて一連の経過が説明されました。11月8日の臨時会ではその責任を受けて町長等の給与の1か月10%減額の議案が提出され、可決しました。

経過

- 町から日本年金機構に誤ったデータを送信
- 8月15日、公的年金から町が誤った額の保険料を徴収
- 9月10日に徴収誤りが判明
 - ・過少徴収319件 194万4,200円
 - ・過大徴収321件 211万3,376円
- 9月27日にお詫びと説明のため全戸訪問を開始
- 9月30日に一通りの訪問を終了

○再発防止策

- ・再確認の徹底
- ・マニュアルを強化し、チェックリストとともに手順を徹底
- ・複数職員による確認の徹底



全員協議会質疑(10月16日)

- Q** 介護保険料徴収誤りは以前にもあったのか。
- A** 1件ありました。平成19年には国保税の誤りがありました。
- Q** 全戸訪問の際の町民の反応は。
- A** 厳しい意見をいただくこともありました。もう一度気を引き締めて取り組みます。
- Q** 事務量が多すぎないか。
- A** 前もって計画されている業務であり、仕事の配分の中で対応していました。

臨時会質疑(11月8日)

- Q** 単純なミスなのか。
- A** 全員協議会でご指摘いただいたマニュアル等は現時点で作成していますが、単純なミスと認識しています。
- Q** 職員の意思疎通に問題はなかったのか。
- A** その点では問題はないと認識しております。
- Q** この事態で対応した職員への手当は。
- A** 管理監督する者以外の係員に対する予定外の時間外手当が発生しました。

議案第74号

町長等の給与の特例に関する条例

【内容】介護保険料徴収誤りを真摯に受け止め、町長と副町長の給与を1月、100分の10を減額するもの。

可決 全員賛成

一般質問

町政を質す

- 町民の声を伝える
- 町政に生かす
- 町の考えをたずねる

一般質問は12月18日に6人の議員が12問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

根本重一 議員 8	木戸久康 議員 11
(1) 令和7年度の事業計画と財源の確保について	(1) 諸事業、諸行事に対する町の考えを問う
野崎喜彦 議員 9	佐川勇司 議員 12
(1) 主要事業の進捗と今後の取り組みについて問う	(1) 町民の健康管理について
(2) 子どもを取り巻く学習環境等の整備について	岡部淳一 議員 13
鈴木隆 議員 10	(1) 町教育環境の現状と今後の見通し
(1) 人、農地プランから地域計画への策定進捗状況および集約化できない遊休農地について	(2) 西渡団地移転の現状と今後の住宅建て替え
(2) 公共交通最適化業務の進捗状況について	(3) 町農業の展望と来年度の米づくり
(3) 賦課事務誤り再発防止対策対応について	(4) 公益通報制度について

次年度事業計画

Q 令和7年度の事業計画は

A 「みんながいつも元気でいられる 活気あふれる町」の実現を目指します



ねもと しげかず 根本 重一 議員



早期開通が望まれる越代熊倉線

令和7年度の予算編成に当たり、国や県の動向や社会情勢を踏まえ、第7次振興計画に基づき、持続可能な町づくりを推進するための、予算編成が望まれる。

根本 新年度の予算編成に対する基本方針は何か。

町長 持続可能な自治体経営を行うため、事業別予算説明書を活用し事業分析を行います。

「第7次振興計画」の実現に向けて、効果的・効率的な予算編成を行います。

根本 「第7次振興計画」の基本計画で、特に取り組むべきものは何か。

町長 基本計画は、人づくり分野、健康・生きがい分野、安心・安全分野、産業分野から構成されており、いずれの分野も取り組むべき施策と考えています。

根本 主な継続事業はどのように進めていくのか。

町長 国、県の補助金・交付金や地方債の財源の確保に努めながら、事業の進捗並びに完了に向けて推進を図ります。

根本 新たな少子化対策への取組はあるか。

町長 令和7年度の当初予算について各課からの予算要求時期であり、具体的なものは確定していません。

根本 地域おこし協力隊の活動は。

町長 現在3名の協力隊員が活動しているが、2名については令和6年

根本 財源の確保はどのような見通しか。

町長 令和7年度の当初で任期満了します。**根本** 地域おこし協力隊に今後、望むことは。**町長** 引き続き募集を行い、地域協力活動を担っていただき、定住・定着を目的とし、地域力の維持・強化を図ります。

根本 債務の返済計画は。**町長** 現時点でのピークが令和7年度で、その後償還額は減少していきます。償還計画は、今後の地方債の借入れにより変動します。



草木染め体験で町おこしする協力隊員



田口地区自主防災訓練を開催 今年で第2回目となる田口地区の防災訓練が11月24日(日)に田口集落センターで開催されました。31人の参加者は「消火器の使い方」「心肺蘇生法」や「煙体験」など真剣に受講・体験していました。参加者の1人(50代女性)は、「いざという時にどうすれば良いのかを体験できてとても良かった」と話していました。(野崎喜彦)



のざき よしひこ
野崎 喜彦 議員

Q 主要事業の進捗と今後の取り組みは

A 道の駅は開発許可の準備をしています

野崎 「道の駅の基本構想・基本計画策定業務委託」の全容は。

町長 基本構想や基本計画、検討委員会の運営支援などです。

野崎 道の駅設置構想計画に向けた「検討委員会」の討議内容は。

町長 施設の構想案の検討をしていただきました。建物の位置や規模などについての意見等が出たので参考にします。

野崎 「新・道の駅」の計画、予定は。

町長 開発許可の申請の準備をしています。許可後に敷地造成に着手します。



週末多くの客で賑わう道の駅

野崎 「地域公共交通最適化事業」の令和7年度の計画は。

町長 国の施策の情報収集をし、最適な公共交通体系を引き続き検討します。

学習環境

Q 子どもを取り巻く学習環境の整備は

A 学校再編は話し合いを進めています



町政に様々な提案がなされた中学生議会

野崎 「子ども基本法」に則った取組は。

教育長 ブリテイツシユヒルズ研修や職場体験、中学生議会などです。

野崎 「中学生議会」開催の目的は。

教育長 地域社会に関心を持ち、積極的に地方政治に参加する主権者意識の基礎を養うことです。

野崎 児童生徒へのパソコンのセキュリティ教育の現状は。

教育長 情報モラルの重要性とネットの危険性を指導しています。タブ

レット1台ずつ、学校ごとにネットワークセキュリティサービスを利用しています。

野崎 子ども子育て支援の実績と今後は。

教育長 給食費の無料化や漢字・英語検定料の補助などを実施しています。今後は要望や必要性を検討しながら進めます。

野崎 学校の再編に対する計画と方向性は。

教育長 定例教育委員会や総合教育会議で話し合いを進めています。

農業政策

Q 今後の農地利用に関する
地権者への意向調査の結果は

A 約40%が現状維持の意向で
約37%が売却等、規模縮小の意向です



鈴木 隆 議員

鈴木 結果データの傾向から、どのような解析が得られたか。

町長 所有者の高齢化や後継者不足による規模縮小の意向がある一方、今後も耕作したい、あるいは規模拡大したい所有者もいることから、貸し手、借り手の意向により、段階的に集約化を進めていく必要があると認識しました。

鈴木 地域計画および目標地図の策定状況は。

町長 10地区での座談会が終了し、その意見を反映して今年度末までに策定します。



今後の農地利用について
全ての農地地権者にアンケート調査が行われた

鈴木 集約化できない、条件が良くない農地は保全区域化の可能性があるが、何らかの支援を考えているか。

町長 中山間地域等直接支払制度、多面的支払交付金の受皿組織の活動により、保全・管理を行っていくことで、農地を守っていただきたいと考えます。

公共交通対策

Q 公共交通最適化業務は
いつまでに完遂し開始するのか

A 可能な限り早期に
開始できるよう努めます



新たな公共交通体系が望まれる福祉バス

鈴木 全体の構想は定まったのか。

町長 先進事例等を参考に、当町に適したものを考えております。

鈴木 今現在の課題、障害となっているものは。

町長 事業者の確保等があると考えます。

鈴木 福島県地域公共交通活性化協議会による路線バス再編の影響は。

町長 福島交通が運行

する竹貫田線、仁田線について起終点が石川町内で延伸する計画があり、その影響として赤字額が増える見込みですが、路線維持のための国や県の補助が受けられることから、町からの赤字補てんは減る予定です。

その他の質問

「賦課事務誤り再発防止対策対応について」の質問も行いました。

湯殿山神社例大祭 9月7日(土)、今年も大久田地区湯殿山神社例大祭で奉納相撲が開催され、町内外から多くの青年の皆さんが参加し、熱い取組が行われました。(佐川勇司)



木戸 久康 議員

Q 八幡神社例大祭の現況は A 基本的には奉賛会の運営です

木戸 各行政区へ慣例的に支出している助成金はどのようなものがあるか。

町長 各行政区へは区長委託料、班長報償を支出し、関連団体へは地区公民館委託料を支出していません。

木戸 来年度以降の敬老会のあり方は。

町長 新型コロナウイルスの影響で中止になる以前は300人以上だった出席者は160人程度にとどまっています。来年度以降は近隣町村の動向も踏まえ、検討してまいります。

木戸 流鍋馬の町ふるごのでPRしているが、



コロナ禍前より参加者が減った敬老会

何をもちって流鍋馬の町と認識しているのか。

町長 八百有余年の歴史を誇る流鍋馬が伝承されていることによるものと捉えております。

木戸 町の馬3頭の現在の状況は。

町長 所有者である流鍋馬保存会が飼育しており、今年の八幡神社例大祭での流鍋馬、笠懸の神

事や流鍋馬大会でも使用しております。

木戸 流鍋馬保存会はどのような活動をしているのか。また、助成金額はいくらか。

町長 流鍋馬の射手育成のための教室や流鍋馬大会の開催、例大祭への協力などを行っております。

町からの助成等は昨年

度、保存会への運営経費補助で17万円、馬の飼育管理補助で350万円、流鍋馬射手地域間交流事業委託料として200万円を支出しております。

木戸 八幡神社例大祭の現況をどう捉えているか。

町長 基本的には奉賛会の運営により行われているものであり、と捉えております。

木戸 道の駅計画の進捗状況は。

町長 開発許可の申請に向けて準備をしています。



人数の減った例大祭の祭典行列

鎌倉岳清掃登山 12月1日(日)、古殿町山遊会のメンバーで、大作登山口から山頂までごみを拾いながら登山を実施しました。心ない人が捨てたごみを拾いながらも、山頂に立てば気分は爽快。(松崎法通)

健康施策

Q 人間・脳ドック検診の年齢枠を伸ばすことはできないか

A 状況を精査し検討します



さがわ ゆうじ 議員 佐川 勇司

医療技術も進歩し、健康寿命をいかに伸ばすかが大事かと思う。加速化する社会環境・様々なストレスや食生活の変化により、近年、がんと診断されるのは2人に1人と言われている。この状況下で大事なことは、病魔の早期発見と健康管理である。

佐川 町民の健康管理の取組には大きくどんな検診があるか。

町長 特定健康診査とがん検診があります。

佐川 人間・脳ドックの取組の経過年数と、近年の受診者年齢層と受診者数は。

町長 人間・脳ドックの取組を始めて30年以上経過し、60代の方が多く、直近5年間の平均受診者数は年100人ほどです。

町長 医療機関から要請のあった受入人数、予算面から設けてきました。状況を精査し検討します。

佐川 人間・脳ドックの対象年齢枠を70歳前半まで伸ばすことはできないか。

佐川 健康管理センター内の運動室の活用は。



健康づくりに活用されている運動室

町長 カラダづくりや健康増進のために活用していたが、令和5年度において累計3452人の方が利用されており、体力づくりに利用しています。

町長 令和6年度、4月からは11月末までの数字になりますが、延べ町内者6394人、町外者2074人が健康づくり、体力づくりに利用しています。

佐川 町民水泳プールの町内外利活用は。



町内外の方に利用されている温水プール

Q 中学校改修についての方向性は

A 定例教育委員会などで話し合っています



おかべ じゅんいち
岡部 淳一 議員

自治体共通の認識は、子どもたちを取り巻く環境の変化であり、人口減少の中で児童生徒数も著しく減っている現状に多くの課題があります。

岡部 児童生徒数の減少により難しい点は、

教員長 小学校では鼓笛隊の編成や縦割り清掃班の編成です。中学校では部活動編成が課題です。それらの課題について、今年度、部活動検討委員会を立ち上げて協議します。

岡部 中学校改修について様々な町民の声が出ているが、今後の方向性についてはどの段階なのか。



創立 50 周年を迎えた古殿中学校

教員長 定例教育委員会や統合教育会議で話し合を進めています。

岡部 給食センターについても意見が出ているが、自校方式やオーガニックを取り入れるなどの方向性は考えているか。

教員長 現時点で考えていません。

町営住宅事業

Q 住宅土地の借地についての協議は

A 関係者からの意向を伺った状態です



造成工事が進む前木団地

西渡団地移転新築工事が進められ、外観が見え始めました。町営住宅をどこにどれだけ供給するかは、町民要求を踏まえ、計画に基づいたものでなくてはなりません。

岡部 新築している団地入り口部分にブロック擁壁が積まれたが、積んだ意味合いと、引き続き土地にも擁壁が積まれるのか。

町長 進入路を東側から北側へと敷地内を有効に活用するため、積みブロックを計画しました。引き続き土地への施工は計画していません。

その他の質問

「町農業の展望と来年度の米づくり」と「公益通報制度について」の質問も行いました。

岡部 現在の住宅土地借地についての協議はどのようになったのか。

町長 関係者からの意向を伺った状況です。

岡部 今後老朽化による建替えはどこがいつ頃予定されているのか。

町長 町営横小路団地、横川団地ですが、時期については今のところ未定です。

議会傍聴

開かれた議会を目指して 傍聴者の方からの声

12月18日の一般質問で傍聴者に用紙を配付し、感想を書いていただきました。様々なご意見をいただき、ありがとうございました。



初めての議会傍聴でした。町と議員の真剣なやり取りが新鮮でした。また行ってみたいと思いました。また、議会のオンライン配信はできないのでしょうか。ぜひともオンライン配信をお願いします。



質問内容がよく調べられていると思いました。答弁もよかったですと感じました。分かりやすい質問・答弁をお願いします。



オンライン化を進めるなどして、誰もが関心を持てる議会にしてほしいと思います。



質問事項の内容等が詳細に調べられており、町の発展向上に対し、前向きに取り組む姿に感謝します。地域おこしなど、具体的な質疑応答がなされてとても良好でした。



道の駅の基本構想の業務委託の内容を、町民にチラシ等で公開して意見を求めるべきだと思います。

傍聴者32人



お越しいただき
ありがとうございました。
感想は要約して
記載しています。



一般質問に多くの傍聴者が訪れた

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 道の駅拡張に向けたアイデアは

Q 令和6年3月一般質問から

道の駅拡張に向けたアイデアの集約をどのように考えているのか。

A 町長答弁

いろいろな意見を聴くことも大切であり、今後検討します。

どんな道の駅にしたいか
皆で考えているんだね。



しみもっちー

平成27年の
中学生議会で誕生！

その後の
対応

議会議員の構想が 基本計画の素案に 取り入れられた

全員協議会で町長に提言された道の駅の構想が、現段階で基本計画の素案に取り入れられました。



基本計画の検討が進む道の駅（敷地総面積 1万 8,687 平方メートル）

◆表紙の写真によせて◆

今号の表紙を飾るのは古殿町高校生アスリート、日大東北高校陸上部2年生の小針星砂(こばり せいさ・鎌田出身)さんと酒井佑真(さかい ゆうま・下山上出身)さんです。古殿中学校で近藤仁一先生の指導を得て、中学生時代からすでに頭角を現しました。

第64回福島県高等学校新人陸上競技大会で小針さんは男子100m、男子200m、男子4×100mリレーを制して三冠を達成。

酒井さんは男子砲丸投と男子円盤投で二冠を達成し、青森県で開催された東北大会に出場しました。

令和7年度は高校生最後の3年生となります。窪木一茂選手(自転車競技)に続くオリンピック出場も夢でない2人に、町民の皆さんのエールをお願いします。(根本重一)



まちの企業紹介

No.18

今回紹介するのは、「株式会社高木電器」の皆さんです。

***会社の設立を教えてください。**

創業 60 周年、県内全域に事業拡大。

昭和 39 年 12 月 12 日、創業者である高木利男が鎌田字長光地に高木電器を開業以来、令和 6 年で創業 60 年目を迎えました。令和 4 年には、高木純子が代表取締役役に就任しました。

創業当時は家電販売店を営んでおりましたが、昭和 45 年から NHK 難視聴対策に伴うテレビ共同受信施設設置を始めました。その後、一般難視共聴施設設置、東京電力送電線電波障害対策工事や防災無線等の設置業務など、福島県内全域に事業拡大し現在に至っております。



作業の様子

***会社における基本的な考え方は何ですか。**

社員一丸となって社会貢献を。

長年培ってきた同軸ケーブルや光ファイバーケーブルの専門的技術力と施工品質、そして福島県内全域をカバーする体制と機動力を活かし、更なる向上を目指します。そして、安全第一を心がけながら各地域テレビ共同アンテナ施設の皆様へ安定したテレビ電波の確保・維持を通じて、社員一丸となって社会貢献したいと思っております。



株式会社高木電器の皆さん

**“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか**

次回の
定例会

3月 上旬

古殿町のホームページからもご覧いただけます。

古殿町

検索



町議会へ